

# 研究成果報告書

令和3年 6月 17日

## 1. 所属・職・氏名 等

学校教育学科 准教授 堤 英俊

## 2. 研究課題（テーマ）名

障害者雇用と障害児教育のねじれに関する研究

## 3. 研究期間

令和2年度 から 令和2年度まで

## 4. 利用した研究費の種類及び金額

若手教員研究促進費 300,000 円

## 5. 研究の概要

本研究では、国連障害者権利条約の批准を受けて、法定雇用率のパーセンテージが順次見直されている企業システムにおける障害者雇用の抱える課題と対処、学校教育システムにおける障害児教育・インクルーシブ教育の課題と対処を突き合わせる中で、そのねじれの様態と明らかにするとともに、それをほどこ道筋について考察することを目的とした。

## 6. 研究成果等

第1に、障害者雇用に関する文献を収集し言説の分析を行うとともに、障害者雇用の現場である株式会社トーマツチャレンジと、民間で積極的に発達障害児のキャリア教育および就労移行支援を進めている現場である株式会社Kaizenを訪問し、スタッフに対し、インタビュー調査を行った。

第2に、障害児教育・インクルーシブ教育に関する文献を収集し言説を分析した。インクルーシブ教育に関しては、前年度までの調査結果も踏まえて、2件について論文化して発表した。

第3に、障害児教育（知的障害教育）を経由して、企業に就労した成人2名（1人は非障害者枠での雇用、1人は障害者枠での雇用）を協力者として、受けてきたキャリア教育や現在の職種（一般就労）を目指すきっかけ、就労してみたのやりがいや苦勞について、半構造化インタビューを行ってトランスクリプトを作成し、そのデータを分析した。

第4に、最終的に、上記の研究結果を参照させながら、障害者雇用と障害児教育のねじれをほどこ道筋について考察し、文章化した。敬愛大学の高木朋代先生（労働経済学）を代表とする障害者雇用の共同研究グループから、上記論考を所収した共著本の出版のお誘いを受け、2021年度中に出版予定である。

## 7. 研究の実績（論文・発表 等）

堤英俊「小学校におけるインクルーシブな学級文化づくりに関する研究－オーストラリア・クイーンズランド州の教育実践を手がかりに－」『地域ケアリング』第22巻第13号、2020年11月

堤英俊「小学校におけるインクルーシブな学級文化づくりに関する研究Ⅱ－台湾・台北市圏の教育実践を手がかりに－」『地域ケアリング』第23巻第3号、2021年2月